

秋 田 大 学

大学ってどんなところ？

中学校や高校とはちがい、自分の研究を進める場所。人との交流が増え、それまでよりも多くのことを自由に学ぶことができる。

秋田大学ではどんなことをしているのだろう？

秋田大学では、教育文化学部、医学部、工学資源学部の3つの学部に分かれている。そしてそれぞれの中でも様々な分野に分かれ、研究を進めている。また、地域に貢献しようとボランティアなどの活動も行っている。



秋田大学にはなにがあるのだろう？



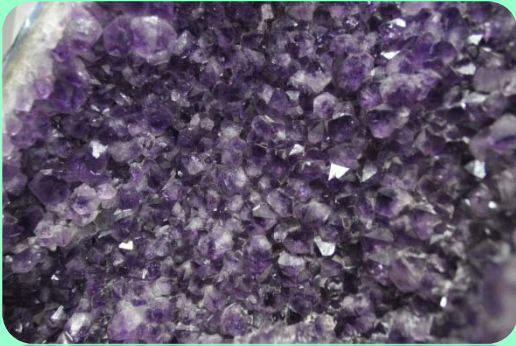
←講義室。
講義(授業)を受ける場所。
広いところだと300人以上入る講義室もある。
時間割は毎日自分で組むから、授業にでている人数はバラバラ。
1日講義に出ないこともある。

天体観測ドーム。→
地学研究室の天体観測室で
36年の歴史がある。
一般の人を対象とした天体観測
会も開催している。



←教育文化学部3号館の壁画。
60周年記念ホールの壁画は
1971年に教育文化学部3号館
が新しく建設される際に作られた。
タイルで制作されており、タイトルは
「雨露と土」と左下に入れられている。

附属工業博物館。→
様々な種類の鉱物など
をおいている。
ここにおいている鉱物の
種類は日本一。
秋田でしかとれない貴重な
鉱物もおいている。



←アメジストと呼ばれる鉱物。
ここでは70万円相当のものが
おいてある。



←たくさんの鉱物。
大学ではこのような鉱物
資源などの研究をしている
生徒もいる。

これからの秋田大学はどうなっていくのだろう？

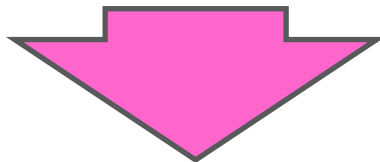
現行 3学部構成

教育文化学部

工学資源学部

医学部

2学部の組織改革



平成26年4月以降

4学部構成へ

国際資源学部

教育文化学部

再編

理工学部

医学部

地域の魅力と課題を再発見
社会に新たな価値を生み出すための
教育と研究の深化